

データ移行作業について

エネルギー消費によるセキュリティからの脱却

【議会運営課】 小林 哲三

現在のセキュリティシステム

1. データ移行作業について ①

① USBを取りに行く

② 台帳に記入する

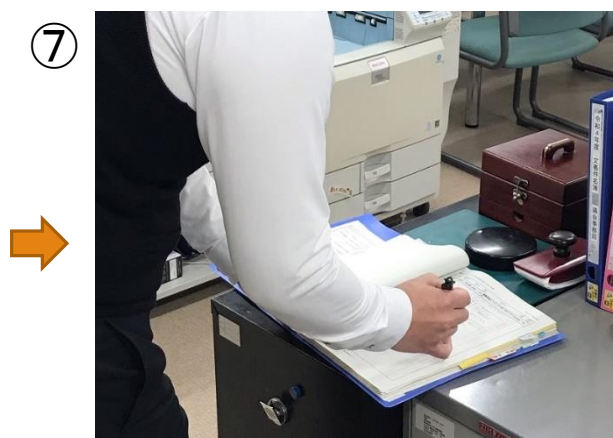
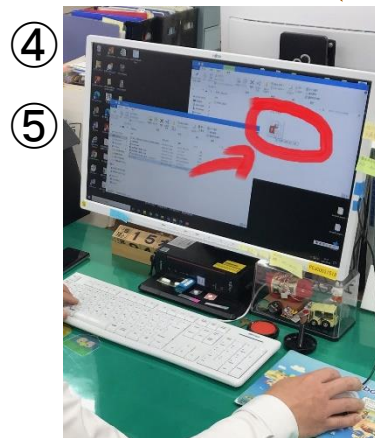
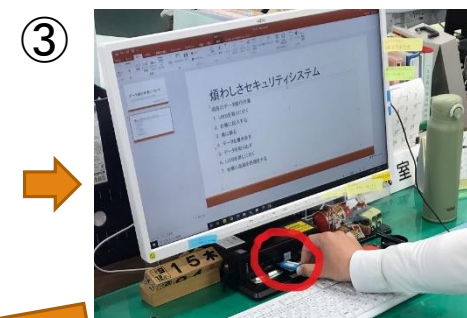
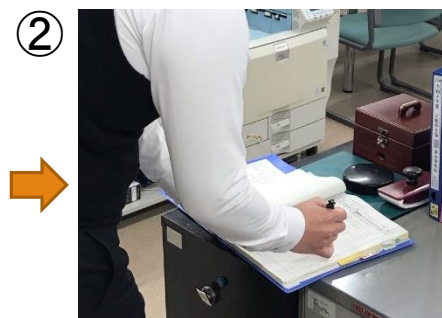
③ 席に戻る

④ データを書き出す

⑤ データを取り出す

⑥ USBを戻しに行く

⑦ 台帳に返却の処理をする



現在のセキュリティシステム

1. データ移行作業時間について

① USBを取りに行く

⑥ USBを戻しに行く

○通常の場合 

計測 1回目 18秒37 × 2

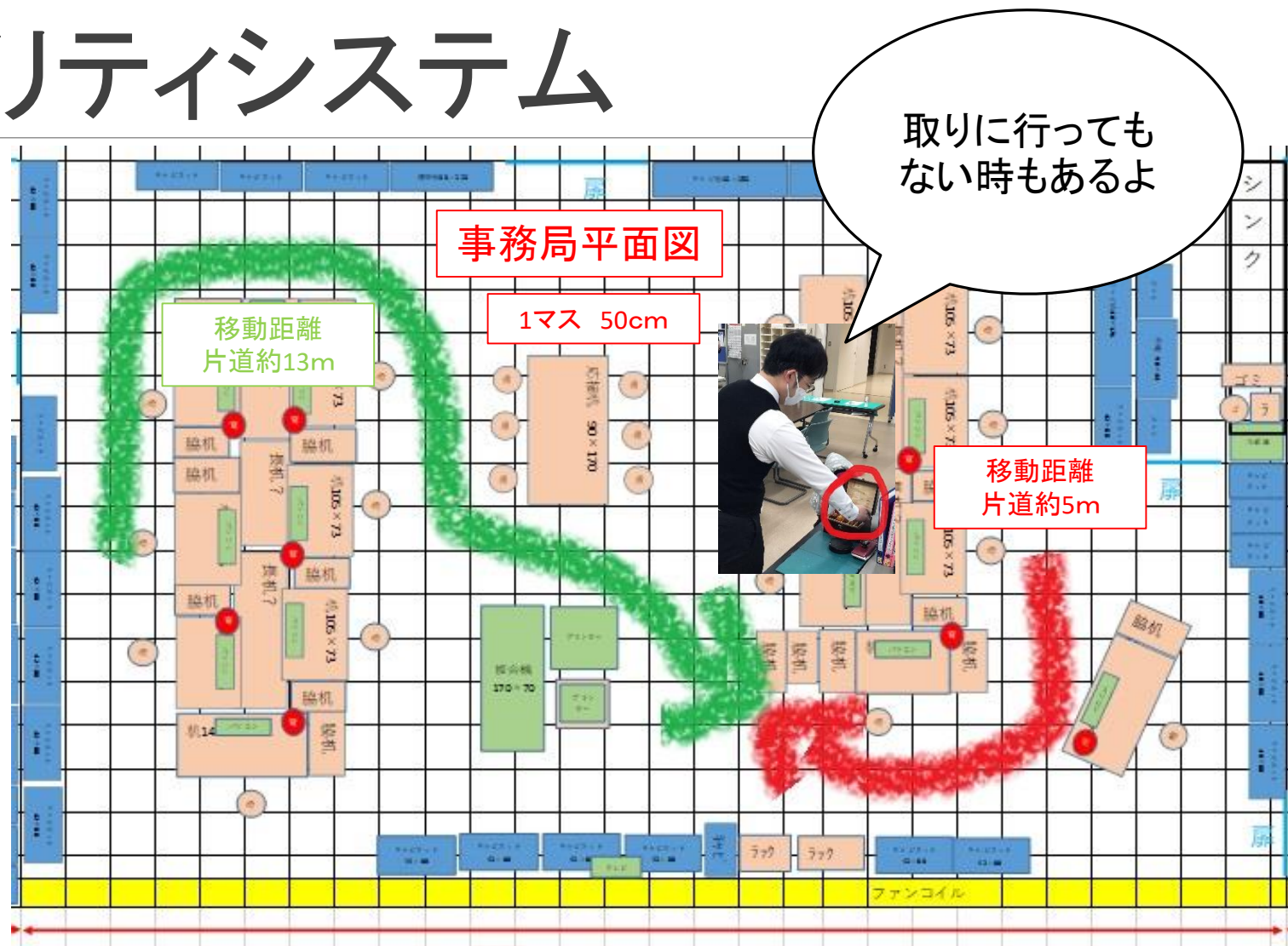
2回目 18秒04 × 2

3回目 18秒06 × 2

平均36秒31

○最長職員の場合 

参考計測値 58秒76



現在のセキュリティシステム

1. データ移行作業時間について

② 台帳に記入する

⑦ 台帳に返却の処理をする

作業内容 記入事項(日付、媒体名、名前、作業内容)文字数48文字、押印

○計測 **53秒27**

様式3_USBメモリ等利用管理台帳 (令和2年度)

課かい名 議会運営課

| 項 | 利用日 | 個体管理番号 | 利用者 | 個人情報 | 利用目的 | 返却確認 | 確認印 (情報セキュリティ責任者) |
|----|------|--------|--------|-------------------------------------|--|------|----------------------|
| 20 | 3/22 | USB01 | 佐世保 太郎 | <input checked="" type="checkbox"/> | ●●業務にてデータを原へ送付するため | 佐世保 | 印 |
| 21 | 4/20 | USB01 | 中村 中 | <input type="checkbox"/> | C環データ(4月臨時会委員者)B環へ移行し長崎県議会事務局へメールで送付 <input type="checkbox"/> B環境に保存してある契約書 | 中村 | 印 |
| 22 | 4/20 | USB01 | 西 中 | <input type="checkbox"/> | 長崎県議会事務局へメールで送付 <input type="checkbox"/> B環境に保存してある契約書 | 西 | 印 |

現在のセキュリティシステム

1.データ移行作業時間について

③席に戻る

⇒USBメモリの認識作業

④データを書き出す

⇒データを選びUSBメモリへ移動

⇒USBメモリを引き抜く

⑤データを取り出す

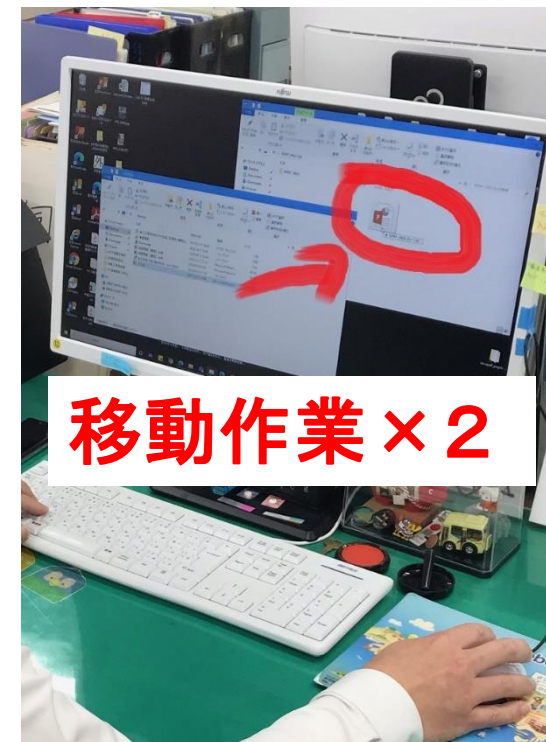
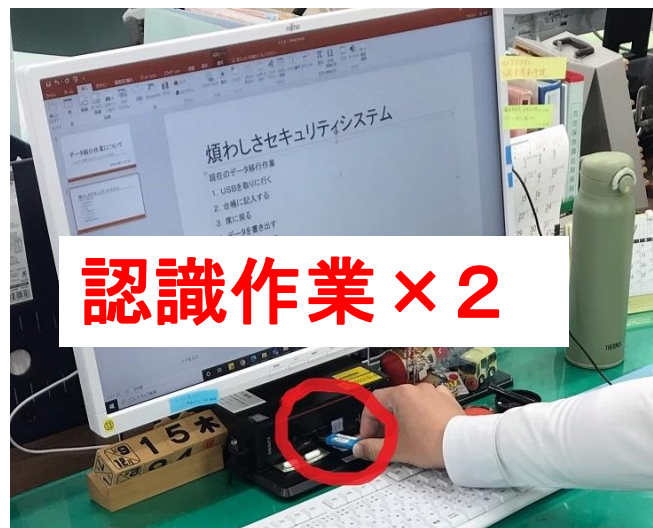
⇒USBメモリの認識作業

⇒USBメモリから移行先フォルダへデータを移動

作業内容

○計測 A職員 1分14秒36 B職員 1分37秒95 C職員 1分43秒16

平均1分31秒82



現在セキュリティシステム

1.データ移行作業時間について

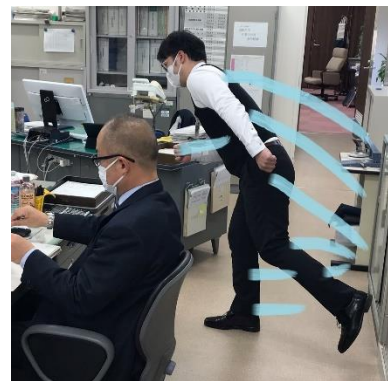
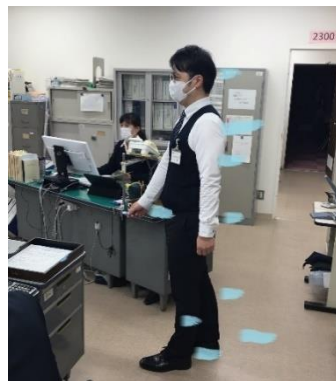
- ①USBを取りに行く
 - ⑥USBを戻しに行く
- 36秒31**
- ②台帳に記入する
 - ⑦台帳に返却を処理をする
- 53秒27**
- ③席に戻る
 - ④データを書き出す
 - ⑤データを取り出す
- 1分31秒82**

3分1秒4

現在のセキュリティシステム

2.対策について

- ①USBを取りに行く
- ⑥USBを戻しに行く



歩くから駆ける

※危険が伴うため禁止している。

- ②台帳に記入する
- ⑦台帳に返却の処理をする

| 利用日 | 借出番号 | 利用者 | 情報 | 利用目的 | 確認 | 返却日 |
|------|-------|--------|----|--|-------|-----|
| 3/22 | USB01 | 佐世保 太郎 | □ | ... | 佐世保 印 | |
| 4/20 | USB01 | 中村 中 | □ | C環データ(9A00所全表)日研へ移行し 長崎県立大学のハールズ向けの B環境に保存して管理する | 中村 印 | |
| 1/20 | ... | ... | □ | ... | 利 印 | |



| 借出番号 | 利用者 | 情報 | 利用目的 | 確認 | 返却日 |
|------|-------|--------|------|-------|-------|
| 22 | USB01 | 佐世保 太郎 | □ | ... | 佐世保 印 |
| | USB01 | 小本 | □ | B ← C | 小本 印 |

台帳記載の簡略化及び記名を押印 53秒27⇒9秒03

- ③席に戻る
- ④データを書き出す
- ⑤データを取り出す

**基本的な対策無し
マウス操作の鍛錬**

現在セキュリティシステム

3.令和5年1月から始まる文書管理システムに対する効果

- ・起票はB環境でしか行えないため、相乗効果によるセキュリティの強化
- ・外部から届いたメール等は移行作業が必要になりセキュリティが担保される
- ・紙で届いた文書もスキャナーで読み込み移行作業が必要になりセキュリティが担保される
- ・なんととっても煩わしさによるセキュリティ対策を実施

4.体力消耗及び煩わしさによるセキュリティの効果

- ・毎回3分前後の作業であるため、データの移行が煩わしく無駄な作業を省く、業務の効率化に貢献、さらに無駄な作業を行わないことによるセキュリティの確保

※許可されていないUSBメモリの使用、台帳への未記入などのリスクあり

文書管理システム導入による影響

○令和5年1月から始まる文書管理システム導入

・文書管理システム導入に伴い、データ移行を伴う起案が膨大に増加？

文書管理システム導入に伴う業務効果を遥かに凌駕する恐ろしいポテンシャルを持っていると考えられる。

例) 1日に10件データ移行を行う際の年間作業時間(対策実施後)

約2分強×10件×242日=約80時間 → **約10日勤務に相当**

【提案】新しい移行方法

1. データ移行方法

- ・デスクトップ上でドラッグ & ドロップでの移行

2. セキュリティ対策

- ・環境間のデータを移行する際はパスワード入力
- ・データ移行の際にウイルスチェック等の実施
- ・ログ記録による監視の強化

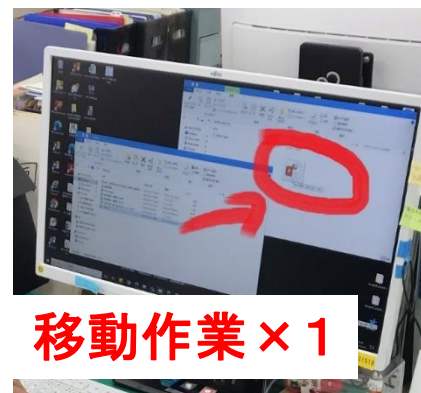
3. 期待される効果

- ・データ移行時間の削減

作業内容 ドラッグ&ドロップ1回+パスワード入力+ウイルスチェック

作業時間 10秒?

- ・USBメモリ紛失のリスク低減



移動作業 × 1

パスワード入力 × 1



金銭換算効果

- ・1人当たり
年間約80時間削減
- ・USBメモリ利用職員数
1970人
- ・職員の時間単価
4.2千円

空想効果

80時間 × 985人 × 4.2千円 =

3億円